レッスン：28“M”

テーマ：生命の木のシンボル

MAC28/EN/KE4/PYRN3/DOC

私の兄弟、姉妹たち、

スピリット、光、火の子供たちよ。私たちは常に神、絶対、神の聖なる質によって抱かれています。

このレッスンを勉強する前に、レッスン24Aを復習し、理解しなおして記憶を新たにするよう勧めます。

以前、生命の木の頂上にある三角形について話しました。この三角形はそのアウタルキー（＊神の自足状態）における絶対存在を現していますが、それはそれ自身の中において顕現する準備ができている絶対存在の状態です。絶対存在の現れの顕現が始まろうとしている状態です。この三角形は絶対存在およびその主要な特質、つまり絶対英知、絶対善、絶対パワーを現しています。三角形の各サイドはそれらの各特質を現しています。右側のサイドは絶対善、左側サイドは絶対パワー、そして底辺は絶対英知を現しています。これは唯一の神ですが、その主な三つの特質が三位一体としてあります。

大きな三角形のなかに四つの小さな三角形があります。一番上の三角形(A1)は父、つまり絶対英知、絶対パワー、そして絶対善に属します。右側の小さな三角形(R)は絶対善に属し、絶対存在のアウタルキーにおけるロゴスのステートに属し、絶対善、絶対英知、絶対パワーがあります。左側の三角形（L）は絶対存在のアウタルキーにおけるダイナミックなステートに属し、絶対善、絶対英知、絶対パワーがあります。

三つの三角形、そして中央にもう一つの三角形があります。中央の三角形は、そこから神の黙想が始まるポイントであり、その三角形は二つに分割されています。それは神の黙想のセンターであり、それはまた神の黙想へのセルフモナドの下降が始まる三角形です。セルフモナドは特定の目的のために神の黙想のなかに入ります。

セルフモナドはその三角形の右半分から下降し、神の黙想の中に入り、ロゴス的現れ、人間のイデアを通じてそれ自身を表現します。そして三角形の左半分からセルフモナドは神の黙想の中に入り、宇宙を創造し、支え、維持しますが、それもまた神のアウタルキー内のことです。

(B2)のシンボルは、人間のイデアを通じて神の黙想の中に入るセルフモナドを象徴しています。大きな円があり、その中には真中に点がある小さな円があります。点のある各円は聖なるセルフ、セルフモナド、あるいはスピリット・セルフ（スピリットであるセルフ）を現しています。（B4）では、円のなかの三角形は魂のセルフ・エピグノシスを現しています。円は永遠を示し、上にセルフモナドのある十字は、魂のセルフ・エピグノシスに与えられた素質的可能性のサイクルを示しています。十字は四つのエレメントを意味し、それはまた磔（はりつけ）のシンボル、バランスのシンボルそして人間のシンボルでもあります。

（B7）は直線の上に置かれているセルフモナドで、それは魂のセルフ・エピグノシスからの聖なるスパークを象徴しています。調和の諸世界を出てバランスの諸世界に入るのです。直線はバランスの諸世界を示しています。このポジションにおいて、魂のセルフ・エピグノシスは別の色を帯び、今や永遠のパーソナリティーと呼ばれます。このポジションから聖なるスパークはB7から10Aへと下降し、エゴの様々な側面を身にまとって無知のなかに入ります。

10Aのシンボルは四面ピラミッドを意味し、地球の四つのエレメントを象徴しています。ピラミッドは地球上の様々な文明において、地球上のあちこちに発見されています。大部分の人は単純に、これらのピラミッドは高い地位にいた人々の墓であると考えています。しかし、実際にはこれらのピラミッドは、無知に取り込まれている人間が自らを無知から解放するのを助けるために築かれたものです。ピラミッドの四つの面のうち、三つはエレメントを表しています。右側は火のエレメントで、色は赤、ミカエルというアークエンジェルのオーダーの監督下にあります。左側はエーテルのエレメントで、色はウルトラ・バイオレット、アークエンジェルであるラファエルの監督下にあります。ロゴスのアベニュー（Aの柱）側の面は水のエレメントを示し、ホワイトブルー色で、アークエンジェルであるガブリエルの配下にあります。

Page2

ホワイトブルー色の反対側は現在のパーソナリティーを示し、色は純白、アークエンジェルであるウリエルの配下にあります。このアークエンジェルのオーダーは、他の三つの間のコーディネーターとして働き、エレメントを示していません。ウリエルは他の全てのオーダーのコーディネーターであり、現在のパーソナリティーの体の中における他の三つの働きを調整しています。

四つ目のエレメントはピラミッドの底で、ピラミッドはそこで地面についています。それは地のエレメントで、色は茶色がかっており、このエレメントを管理しているのはサミュエルです。サミュエルはルシファーというアークエンジェルのオーダーのエレメンタルです。

A9には五芒星があります。五芒星は五感あるいは五つの超感覚を意味し、それは五芒星のポイントがどこに面しているかによります。五芒星が下向きになっている場合、人間は五感を通じて自分を表現し、上向きの場合には人間は五つの超感覚を通じて表現しています。

気づきを上昇させて自分の三つの体をマスターする時、そして同胞の人間の苦しみを軽減するために奉仕する時、真理の探究者は自分を守る保護シールドとしてこの五芒星を使います。

A6に描かれているシンボルはキリスト意識を象徴しています。72の発光のある太陽を

示す円があり、その円のなかには二つの三角形による六芒星があり、上向きの三角形の底辺には十字架が置かれています。下向きの三角形は、ロゴスがキリスト・ロゴスとして、そしてイエス・キリスト・ロゴスとして諸宇宙のなかに入ることを示しています。上向きのもう一つの三角形は、インナーセルフ(Inner Self)の質を完全に表現できるサイコノエティカルな成長レベルに到達し、光(Light)と一つになった人間を現しています。その光はこの地球に来る、あるいは諸宇宙における全ての人間を照らします。

上向きの三角形の底辺には十字架がありますが、その十字架は四つのエレメントのマスターを達成した後の人間の蘇りを象徴しています。

それは、今やバランスの諸世界を通過し、生(Life)が完全に表現されている存在の諸世界、調和の諸世界のなかで魂のセルフ・エピグノシスとしてインナーセルフの質を完全に表現している人間を意味しています。

現在のパーソナリティーの自己実現に到達した真理の探究者は、マインドのあらゆる波動のなかで奉仕するためのシールド（＊防御策）および乗り物として、このシンボルを使います。自己実現したパーソナリティーとしてその進化ポイントに到達したパーソナリティーは、存在の諸世界には入らず、同胞の人間に奉仕するという唯一の目的のために転生のサイクル内に留まります。

C3の稲妻のシンボルは絶対存在の聖霊的下降を意味し、それは様々なアークエンジェルのオーダー（＊系統、グループ）を通じてそれら全ての聖なるモナド(Holy Monads)によって表現されます。

C5のシンボルは、アークエンジェルのオーダーによる創造として、他の王国（＊動植物界など）における生の現象としての現れを示しています。

C8のシンボルは、生の現象の諸世界を築き・支え・維持するためにバランスの諸世界、実存の諸世界に入る様々なアークエンジェルのオーダーを意味します。生の現象の諸世界とは三つの下位のヘブン、現在のパーソナリティーの諸世界です。

過去に私たちはいわゆる八芒星について述べました。このシンボルは生命の木の上にはありません。このシンボルは現れの諸世界においては誰も使うことはできず、人間はそれについてあまり多くを知りません。このシンボルはthe Widest of Heavens（＊直訳すると、最も広大なヘブンという意味）、聖なる母である処女マリアを象徴しています。それは絶対存在の本質における主な特質の一つである創造の法則です。この法則を通じて、絶対存在の主な他の二つの法則が絶対愛　汎宇宙的キリスト・ロゴスおよび聖霊として表現されます。

そうです、聖母、the Widest of Heavensは絶対存在のそれら二つの現れの大いなる母なのです。

Page3

ピラミッドに戻りましょう。このピラミッドのどこに人間を見出すことができるでしょうか？水のエレメントの反対側のサイドは現在のパーソナリティーとしての人間に属する、と述べました。現在のパーソナリティーとしての人間はこのピラミッドの真ん中で取り込まれ、エンライトメント（啓発）に通じる道の反対側を向いています。人間は反対側へとフォーカスし、特に地面、ピラミッドの底、地に面しています。なぜなら、人間は五つの感覚を使って自分自身を表現しているからです。五芒星は下向きになっています。それゆえ、人間はこの迷路から自分自身を解放する道を見出す必要があります。それは、四つのエレメントをマスターすることによって、そうしながら同時に人間のアークエンジェル的ヒポスタシス（＊ある状態にあること）に同調し、それを表現することによって可能となります。

ピラミッドの上に立ち、ノエティカルな太陽に自分自身を同調させようとしているファラオ（＊歴代の古代エジプト王の称号）の姿がしばしば描かれています。そうすることによって彼らは多くの現象を行っているのです。残念なことに、彼らはテクニカルな手段を通じてパワーと能力を表現しようと試み、その試みはある程度成功していました。それらのパワーと能力の表現は彼らに害を及ぼすように働き、自己破壊へとつながったのです。当時、パワーと能力は神に近い位置にあることを示す尺度、あるいは神々として受け入れられ、崇拝される尺度として見られていたのです。

エレブナのやり方は、思考・行動の仕方としての気づきの上昇にあります。そうです、真理の探究者としての真のワークはこのポジションから始まるのです。多くの年月、多くの転生を通じて、探求者はこのポジションに留まり、このポジションからワークをしていくことでしょう；実際、ピラミッドのなかで多くのワークをしなければならず、そのために私たちの地球のあらゆるところにこのモニュメント、記念碑としてのこのシンボルがあるのです。

エクササイズ**M28**

それではエクササイズ PYR/NO.1 を行いましょう。

私たちがこれから行うこのエクササイズは非常に基本的なものです。とても簡単に見えるかもしれませんが、実際にはそれほど簡単ではありません。あなたの心が静まっていない時、ストレス下にある時、心に心配を抱いている時などはこのエクササイズをしないようアドバイスします。

心を落ち着かせます…あなたの心を騒がせるもの全てを解き放ちます…アガピという言葉を繰り返すことによって、心は静寂、平安、至福の状態へと入っていきます…あなたは純白になっており、自分の形の境界を感じます。

今あなたは、四面ピラミッドの四角い底の真ん中に立っています…そのピラミッドの尖端、頂上はあなたの頭上１メートルのところにあり、もし両腕を左右に伸ばしても両手はピラミッドの両サイドには触れません。四面ピラミッドの三角形の一つの面が、あなたの前で地面から上に伸びてピラミッドの尖端に達しています…もう一つの三角形はあなたの背後にあり…もう一つがあなたの右手にあります。前を見てください…あなたの前面の三角形の色は純白です…後ろを向かずに後ろにフォーカスすると…そこにはホワイトブルーの色の三角形が見えるでしょう…それでは右側にフォーカスしてみましょう…赤い色のもう一つの三角形が見えます…次に左にフォーカスすると、ウルトラ・バイオレット色の三角形が見えます。

あなたは純白であり、あなたの身体の前後、左右におけるそれら四色の輝きの暖かさを感じています…あなたの現在のパーソナリティー全体の健康を願います。

私たちは常に主、絶対、神の聖性に抱かれています。

EREVNA MAC28/MEN/PYRN4/SEN